

(2月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
みかん類		11,547	72	10,803	194	154	221	-	-	みかん類はシーズン終盤に入り、入荷量は日々減少。「寿太郎」、「今村温州」などの高糖度系品種も出回る。全体的に裏年で数量は少なく前月より強めの展開が予想される。
りんご類		6,886	105	6,773	224	105	231	95	1.3	サンふじの貯蔵量は前年同時期よりやや多い。色回りは前年より不良であるが、玉肥大、食味は良好。市況を見ながらの出荷体制となるが、みかん類の不足やいちご類の生育遅れなどを背景に販売は良好な環境となる見込み。
いちご類		4,331	99	4,441	1,124	103	1,149	-	-	全国的に低温が続き、現在、各品種とも生育ペースは遅れている。作型間の入荷の谷間も懸念されることから、入荷量は前年並からやや減の見込み。価格は前年並と予想される。
キーウイ		932	78	852	316	127	307	-	-	本年産は裏作のため、各銘柄とも入荷量は前年の70~80%の見込み。小玉果は例年よりも多めであるが、食味は良好。シーズン初めから品薄感があり。国産品のみの販売環境にあり、引き続き入荷減単価高で推移する見込み。